

松浦のり子

月

満ちては欠け
欠けては満ちる
頭上の月に

己の憂いを重ねて
ぼくは
いったい何を見ていたのだろう

ぼくも
月も
宇宙の石ころ

是もなく
非もなく
ただ
在るものとしてあり